



くまの
の
おおはな
び
熊野大花火

お

おに
鬼もおどろく
おおはな
び
大花火



くまの おおはなび
熊野大花火

くまの おおはなび えどじだい ちゆう
熊野大花火は、江戸時代の中
期、きのもとちよう ほつぼん いえいえ せん
木本町の初盆の家々が先
祖の霊をなぐさめるために始め
た行事でした。現在の熊野大花
火大会では、おにがじょうおおし が
三尺玉を海上に浮かべて爆発
させる海上自爆など、おおがかり
な花火が有名になり毎年大勢
の観客が訪れるようになってき
ました。【教材「三重の文化」P87】